記者発表資料

がんばろう！東北

平成３１年４月１２日
東北地方整備局

東北地方整備局職員３名が
平成３１年度文部科学大臣表彰創意工夫功労者賞を受賞

～４月１７日（水）当整備局において伝達式を行います～

文部科学省では、優れた創意工夫により職域における技術の改善向上に貢献した者を創意工夫功労者として表彰しています。
平成３１年度は、当整備局職員から「全国初の災害時ドローン撮影ポイント集の考案」を行った３名が受賞しました。

○創意工夫の内容（別添資料参照）

地方整備局の任務を遂行する上で、ドローンによる被災状況調査は、立入が困難な被災箇所の映像を入手できることから有効な調査手法となっており、その映像が災害時の状況把握に果たす役割は非常に大きなものとなっています。

一方、被災状況調査におけるドローンを用いた効果的な撮影手法は、まだ確立しているとはいえない状況です。

この課題を解決するため、全国初として、ドローンの撮影手法に関する知見をポイント集としてとりまとめ、平成３０年６月に災害対応従事者向けに公表した取り組みが評価されました。本ポイント集は当整備局の被災状況調査におけるドローンの効果的な活用に繋がるとともに、他地整や自治体等、災害対応に従事する各方面における活用が期待されています。

○伝達式

伝達式は、文部科学省で実施している科学技術週間（４月１５日～２１日）の行事の一環として実施します。

・日　時　　平成３１年４月１７日（水）　１４：３０～１５：００
・会　場　　東北地方整備局　第三会議室　（仙台合同庁舎Ｂ棟１０Ｆ）
・受賞者　　岡本　守　　東北地方整備局　道路部　交通対策課長補佐
　　三浦　高史　　東北地方整備局　河川部　河川計画課長補佐
　　戸田　明日香　　東北地方整備局　用地部　用地企画課企画係
・伝達者　　東北地方整備局長

○取材について

取材の受付は会場前にて１４：００より開始します。
なお、取材は担当者の指示に従ってください。

〈発表記者会：宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会〉

問い合わせ先　国土交通省　東北地方整備局　℡022-225-2171（代表）
伝達式：総務部　人事課長　安藤　広晃　（内2251）
技術関係：企画部　企画課長　大澤　修一　（内3151）

ドローンを用いた被災状況動画撮影のポイント集（概要）

現状と課題

災害時の被災状況調査は、河川の氾濫や土砂崩れなど、通常とは違う条件下で作業を行うこととなるため、立入が困難な被災箇所等において、ドローンは有効な現地調査手法となってきている。

一方、被災状況調査におけるドローンを用いた効果的な撮影手法は、十分に確立されていない状況である。

課題解決に向けた取り組み

ドローンを用いた被災状況調査の課題解決に向け、平成28年台風10号等における被災状況調査の経験等をもとに、東北地方整備局や国土地理院、現場におけるドローン操縦者等の知見のほか、パブリックコメントにより広く一般の意見も取り入れ、「ドローンを用いた被災状況動画撮影のポイント集」をとりまとめた。（H30．6公表）

創意工夫の内容

ポイント集の作成にあたっては、被災状況調査にドローンを効果的に活用できるよう、調査の実務者向けに、大きく3つのポイントに分けて構成し、より理解を深めるために、動画を確認できるWeb版も作成した。

■ 安全対策

- 災害時の被災状況調査は、ドローンに対する航空法上の規制の適用外となっているが、気象状況、河川の氾濫・土砂崩れなど、通常と異なる条件下での作業となり、より一層の安全確保が求められることから、状況別の留意事項を記載



電柱が倒れるなど通常想定されない事象

■ 撮影手法・撮影技術

- 撮影目的に応じた対地飛行高度の目安や、河川の氾濫や地すべりなど災害種別による飛行高度・経路、アングルなど、調査時に留意すべき事項を記載



河川災害の場合の飛行経路イメージ



土砂災害の場合の飛行経路イメージ

■映像編集

- 撮影した画像の受け渡しや映像編集の方法など、具体事例をもとにわかりやすく記載



土砂災害の映像構成事例